

平成31年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 菅野 茂男
学校関係者評価委員会事務局

平成30年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて
次年度に向けた改善方策

- 1 「豊かな人間関係づくりをめざし、ものの見方・考え方を深め、自己教育力を培う」について
 - (1) 新学習指導要領の方向性と世田谷教育要領に則り、「対話的な学び」を重要視し、「傍観者から参加者になれる」「友を理解し、自分を理解できる」「質の高い学びを経験できる」という対話的な学びの効果を実感させる。
 - (2) 対話的な学びの効果を高めるために、繰り返し学習や補充学習を充実させるとともに、授業のめあての明確化やICTの効果的な活用、体験的な学習や問題解決的な学習の充実、習熟度別指導やチームティーチングなどの指導方法工夫改善に積極的に取り組み、生きて働く知識・技能の確実な習得を図る。
 - (3) ユネスコスクール加盟校として、校内の自然環境や文部科学省エコスクールとしての学校施設を生かした教科等横断型の学習を計画し、グローバルシチズンシップを育み、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得させる。
 - (4) 不登校傾向の生徒や集団生活になじめない生徒への対応については、スクールカウンセラーや関係機関、学舎の小学校等と連携して組織的に行うと同時に、構成的グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニング等の実践や教室環境の整備、学校行事の充実から、自己有用感が実感でき、精神的な満足感が得られる学校・学級づくりを推進し、不登校の未然防止に努める。
- 2 「運動に親しみ、健康に生活する力を培う」について
 - (1) 体力の向上に向けて、体力調査等の結果や授業における運動の技能等を総合的に分析し、東京都の中学生の課題である投力、握力等に対応する改善プログラムを作成して保健体育を中心に実践する。
 - (2) 健康の確保に向けて、生活習慣の見直しや運動する機会が少ない生徒を対象とした軽運動部の活動を充実させ、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む。
 - (3) 食育の充実に向けて、オリンピック・パラリンピック給食を企画・実施するとともに、オリンピック・パラリンピック掲示板で新しい情報を発信し、啓発する。また、食育リーダーと栄養士を中心に、食事を大切にし、自ら健康に留意して生活する態度を養う。
- 3 「世田谷9年教育『船橋希望学舎』活動の進展」について
 - (1) 学舎合同学校協議会を開催し、船橋希望学舎の小中学校の連携を強めるとともに、PTAや地域の協力を得ながら、より良い教育の在り方や安全対策等について検討し、改善を行う。
 - (2) 世田谷マネジメントスタンダード「世田谷9年教育」の理念を踏まえ、小中一貫したキャリア教育の視点をもち、「学校で学んだことが将来の役に立つ」と実感できる授業を展開し、これから社会を生き抜くために必要な知識、技能を身に付けさせるとともに、資質・能力の育成を図る。
 - (3) 部活動体験、学舎あいさつキャンペーン、世田谷子ども駅伝、青少年船橋地区委員会の「子どもぶんか村」の活動を通して、小学生と中学生との交流を図り、小学校と中学校のギャップを解消する。